

子どもの権利ワークショップ 記録（子どもたちの意見）

日時 第1回 12月1日（木）3校時（10:40～11:25）

場所 西鳥取小学校 6年教室 30名（欠席3名）

ファシリテーター 学校教育課 両口 通寛

1. ワークショップ 子どもの権利について

2. ねらい 子どもの権利条約から子どもの権利とは何かを知り、どんな内容で自分たちの生活とどう関わっているのかや安全で安心して生活できる環境について交流しながら考える。

① 子どもの権利条約を読み、一番印象に残った／気になった条項とその理由

○1条「18歳未満のすべての人を子どもとします」（以下、そう思った理由）

- ・17歳は大人に感じる。
- ・18歳は子どもに入らないとされているのに、お酒やたばこは20歳以上にされている。
- ・お母さんから、高校へ行ったら、「自分のことは自分で決めて」と言われているから。

○2条「差別されない権利」

- ・差別やいじめを拒否する権利があることは素晴らしい。

○4条「この条約を守ってもらう権利」

- ・もし国が条約を破ったらどうなるのかが気になった。

○6条「生きる権利・育つ権利」

- ・生きることは大切である。また、育たないと様々なルールを破ってしまう。

○7条「名前や国籍を持ち、親に育てられる権利」

- ・当たり前なのが定められていて、それ自体が大切だと感じる。

○10条「他国に住む親や家族に連絡をとれ、会える権利」

- ・他国に住む親や家族に連絡をとれ、会える権利は、その人の自由だと思ったから。

○11条「無理やり他国に連れて行かれず、自分の国に戻れる権利」

- ・そんな無理やり、他国に連れていかれる事ってあるのかなと思います。

○12条「自分の意見を自由に表す権利」

- ・自分の意見を言える。持てるから。

○13条「色々な方法で情報や考えを伝える権利」

- ・考えを伝えることが権利になっていると初めて知ったから。

○16条「知られたくないことを秘密にでき、信用や評判を傷つけられない権利」

- ・自分の秘密が守られるのが良い。また、他人の秘密を守らなかった人がどうなるのかが気になる。

○19条「親からの暴力などから守られる権利」

- ・親から暴力があったとしても、それを周りの人が知らなかったら暴力されている子どもを守ることができないなって思う。暴力をしている親は、他の人の前では子どもにやさしくするかもしれないから、どうやって見つけるのかと思う。

○21条「養子になる、新しい親のもとで育てられる権利」

- ・どうやって調べているのか気になった。子どもの顔も見たことないのに、どうやって代わりの親を見つけるのか気になった。

○23条「心や体に障害があっても、社会に参加し、十分な生活を送る権利」

- ・安心して生活を送ることができるから、1番印象に残りました。(自分がもしそうなら)

○26条「生活が難しい場合には、国からお金などのサポートを受ける権利」

- ・私たちは、国がお金をくれるからちゃんと生活できているので、印象に残った。ただ、お金がなくて困っている人はどのようなことをしているのか気になります。

○31条「休んだり遊んだりすること、スポーツ・文化・芸術活動に参加する権利」

- ・子どもは遊ぶことや勉強することが大切だと思う。
- ・31条が無くなったら、楽しくスポーツをしたり、つかれた時はゆっくり休むことができないのは辛いなと思うから。

○33条「麻薬や覚せい剤などから守られる権利」

- ・薬物は、あぶないのから、守られる権利を持っていると安心する。

○36条「誰からも幸せをうばわれない権利」

- ・誰からも幸せを奪われないことは良いことだと思う。

○37条「ごうもんや死刑など、心や体にひどい扱いを受けない権利」

- ・犯罪をしてしまったときに、取り調べでひどい扱いを受けそう。また、子どもでも死刑になることがあるかもしれないと聞いたことがある。

○38条「戦争に巻きこまれず、兵士として連れて行かれない権利」

- ・戦争があると、子どもでも兵隊にされるなど、巻き込まれてしまうと思っていた。巻き込まれない権利があると知って驚いた。
- ・大人の男性は、兵士になって戦争に巻き込まれてしまうけど、18歳未満の子どもは兵士として連れて行かれないから守られていると感じた。
- ・戦争をしていたら「条約なんて関係ない」と言われそうだから。戦争にまきこまれるかもしれないから。日本は日本国けんぽみたいなので戦争をしないから。

○41条「もっとよい法律や決まりがあれば、それを使う権利」

- ・子どもの権利条約より良い条約とは、どうやって決めるのかが気になる。

② 学校や家、地域での生活の中で、うれしいことや楽しいことは「どんなこと」「どんな場面」または、「何をしている時」か。それは、子どもの権利条約とどう関わっていると思うか。

場面	うれしいことや楽しいこと（○は人数）	子どもの権利条約の何条と関わりがある？ （そう思った理由）
「学校」	授業が終わること	31条（なし）
	今、教室で授業をしている時	6条、28条（なし）
	みんなと笑い合っている時	9条、12条（なし）
	何か自分が成功したとき	31条（なし）
	学校の休憩時間に友達とドッジボールをすること、休憩にみんなで遊べること③	31条（似たようなことが書かれていると思ったから）
	友達と一緒にいること、友達と遊ぶこと、学校の休憩時間に友達と遊ぶこと⑩	2条、15条（なし）、31条（自由に遊ぶことが同じだと思ったから）、36条（男女差別がないから。）
「家庭」	家族と旅行に行くこと②	27条（なし）、31条（なし）
	ねること	24条（なし）
	ねことふれる（遊ぶ）こと	31条（なし）
	昼寝すること。ゲームをすること。お金をもらうこと④	15条、31条（なし）
	ゲームをすること、家で家族とゲームをすること、オンラインで友だちとゲームすること⑥	9条（似たようなことが書かれていると思ったから）、31条（なし）、36条（誰からも幸せをうばわれない権利があるから。）
	何かを買うこと、欲しいものを買ってもらえた（手に入った）こと④	9条（なし）、12条（なし）、31条（なし）、36条（幸せだと思ったから。）
	バスケットボールをすること。絵を描くこと。	31条（なし）
	おいしい物を食べている時、ご飯を食べている時	6条（なし）
	両親にほめられたとき。夜、落ち着いてねるとき。	36条（なし）
	自分の部屋でリラックスしているとき。家族と過ごしているとき。学校にこれること。	2条、6条（自由に生きられる権利があるから。）
	家族がいること。	6条、36条（生きる権利がなかったら、家族はころされていたかもしれないから。）
	ゲームをすること。サッカーをすること。	31条（参加する権利がないとできないから。）
「地域・その他」	喋ること。いろいろな情報を知ること。	12条（自由に話す権利がないと喋れないから。）
	祭りをする時	31条（なし）
	牛乳を飲むこと	27条（なし）
	（親から育児放棄されたが、）今があること	19条（なし）

	生きていること	6 条（なし）
	何にもしられないこと	3 1 条、3 6 条（なし）

ふり返しより

- ・ぼくは、この授業をして、「子どもの権利」って全部ぼくたちを守るためにあると思った。
- ・この子どもの権利というのを知って安心しました。安心して社会に出れる気がしました。
- ・子どもにはいろいろな権利があるのに、実際守られてなかったり、そもそもこの権利があることを知らなかったら意味ないと思った。
- ・しっかりと自分の意見を書いて発表するのが少しワクワクするけど、やろうと思います。
- ・19条で思ったことは、親から暴力を受けないように守られる権利で、暴力を受けていることをどうやって守るのかなと思いました。
- ・そんなに知らなかったけど、42条もあることを知っておどろきました。そして、このことを活かして人の幸せなどをうばわないなどを守ろうと思います。
- ・子どもにはたくさんの権利があって少し安心しました。自分たちの知らないところで、大人が自分たちのことを考えてくれていると思うとうれしかったです。
- ・自分たちは、のびのび、楽しく、幸せにすごすことができるってわかって少しほっとしました。これからたくさんを知りたくなりました。
- ・色々知らない権利があって、とても勉強になりました。当たり前のこととかもありました。
- ・子どもの権利が17歳までなのは、18歳以上は、自分で責任をとってというメッセージなのかなと思いました。
- ・子どもの権利条約が多くてびっくりしました。子どもの権利条約は、僕たちに良いことしかないんで、なくならないでほしいです。

子どもの権利ワークショップ 記録（子どもたちの意見）

日時 第2回 12月5日（月）3校時

場所 西鳥取小学校 6年教室 30名

ファシリテーター 学校教育課 両口 通寛

1. ワークショップ 子どもの権利について

2. ねらい 子どもの権利条約から子どもの権利とは何かを知り、どんな内容で自分たちの生活とどう関わっているのかや安全で安心して生活できる環境について交流しながら考える。

③ 学校や家、地域での生活の中で、困ったことやいやだと感じたことは「どんなこと」「どんな場面」または、「何をした（された）時」か。（○は人数）

《学校》

- ・ 友だちに悪口を言われた時、押された時。
- ・ 同じ事をしたのに、自分の時だけ態度が違う時。（差別された時）
- ・ 一人だけすみにいる時。
- ・ 一人だけ怒られている時。
- ・ 宿題をする時。

《家庭》

- ・ 寝すぎたり、ゲームをしすぎて親に怒られた時。
- ・ ゲームができる時間を制限されていること。③
- ・ ゲームなどを制限されて、友だちと長く遊べないこと。
- ・ 家で、お母さんにかたづけなさいと言われたけど、いやだと感じた。
- ・ 家で、自分が買ったスイッチなのに、お兄ちゃんがずっと使っていて、すぐにけんかになることがいや。きょうだいとのケンカ②
- ・ 家族に固定概念を押し付けられた時。

《地域》

- ・ 家の周りにごみを捨てられること。
- ・ 夜遅くに、家の周りでうるさくされること。
- ・ 犬のフンを拾っていかないのを見た時に嫌だと感じた。
- ・ 暴走族がバイクや車で暴走していること。②
- ・ 道路がでこぼこなこと。どこに行くにも坂を上らないといけない。

《その他》

- ・ ゲーム内で初対面なのに、タメ口で話された時。
- ・ 初めて会った人と話すとき、どうしたらいいか少し困る。
- ・ 初対面の人に年齢や名前などくわしく聞かれない。
- ・ とても急いでいる時、近くで子どもがこけて助けようか迷って困った。

④ 「子どもが安全で安心してすごせる」生活について

《学校》

- ・ 座る席を自分たちで決めたい。

- ・リモートで授業を受けたい。④
- ・楽しい授業をもっと増やしてほしい。
- ・学校が家から遠いから、バスで行けたらいいな。
- ・自分の良いところだけをのばしてくれる。自分の嫌なことを無理にさせない。
- ・学校にスロープをもっと増やすといいと思った。(クラスの子が骨折して、階段が大変そうだったから)
- ・学校にエレベーターがほしい。
- ・運動場の砂が、やわらかいマットだったらいい。
- ・バス通学

《家庭》

- ・母が、独り言、愚痴を言わず、怒らないこと。
- ・きょうだいとケンカにならなかつたらいいな。

《地域》

- ・学校や地域に不審者が出る時があるから、防犯カメラを置くといいと思う。
- ・地域の駐車場の車止めで、つまずいてこけた子がいるから、減らすといいと思う。
- ・公園など、こわれている遊具があったらすぐに直してくれるといい。
- ・冬になったらカーブミラーが曇るから、曇らないようにしてほしい。
- ・道路でこぼこしている所をできるだけまっすぐにほしい。②
- ・坂を少なくしてほしい。道を広くしてほしい。③
- ・コンビニのトイレ、もう少し増やしてくれたらいいな。
- ・道路に死角がないように。
- ・電灯(街灯)を増やして欲しい。③
- ・ガードレールがほしい。
- ・信号をつけてほしい。②
- ・交番がいっぱいあってほしい。近くに交番がある。②
- ・危険な場所に行けないようにする。
- ・犬のフンを拾うようにする。ごみはごみ箱に捨てるようにする。
- ・石の壁をできるだけ低くする。地震が来る前に予測できるようにして欲しい。
- ・遊ぶところがほしい。
- ・地域の人が見回りをしてくれる。見張りをする塔を建てる。

《その他》 なし

ふり返しより

- ・ぼくが、安全・安心な生活を生きているのは、子どもの権利条約があるからだと思いました。子どもの権利があつてよかったです。
- ・まだこの世の中は、完全に安全・安心じゃないのでそんな世の中になつたらいいなと思いました。
- ・④で書いていることが本当になってくれたら、安心してらせるからそうしてほしいと思った。そして、子どもの権利条約をしっかり覚えようと思う。

- ・どの権利も子どもの安全・安心につながっていることがわかりました。みんなが発表したことや考えたことがどの権利か自分の考えを持ちたいです。
- ・最初は、子どもの権利条約なんて関係ないと思っていたけど、細かく知ったらとても関係があり、大切なことだとわかった。
- ・子どもの権利条約を他の人に伝えて、いじめや差別をなくしたい。
- ・いろんな権利があるが、すごく子どもに対してやさしいと思った。
- ・ぼくは、安心して学校に来れる条約があるとわかりました。ゲームする権利はあるけど、やりすぎないようにしようと思います。
- ・条約について楽しく学べた。少しきょうみを持ったことと、大人に少しなった気分を味わえた。
- ・今日、初めてこの授業を受けたけど、この権利条約があることすら知りませんでした。この条約には、いっぱい書かれているけど、この条約が守られていない人がいるので、この条約がもっと知られたらいいと思います。